



医師の診療業務をサポートするクリニカルセクレタリー

「具体的なにはどのような仕事をしたいのか。」

クリニカルセクレタリーは、診察室に医師が患者さんと集中できるようにサポートします。具体的には、医師と患者さんの会話から記録として残さなければならぬ重要な情報を取り出して電子カルテに代行入力します。また、投薬や検査の指示の代行入力、次回来院日の調整、入院予約、紹介状の作成など、事務的な仕事をします。これにより、医師は患者さんとの診察時間を最大限活用できます。その他、診察終了後は、診書の代行作成、統計資料の作成や研究の支援を行うなど、医師へのサポートは多岐にわたります。

さらに、手帳や如置中の医師に代わり、関係者への各種情報伝達やファレンスの準備など、チーム医療をスムーズに行うための段取りをマネジメントするいわゆるコーディネーターとしての役割を担います。本学科では、そのような適切なチームマネジメントができるスキル身につけるための教育プログラムやクリニカルセクレタリー育成プログラムを設けています。

「診療現場で医師と働くクリニカルセクレタリー」

「医療秘書クリニカルセクレタリーとはどのような職種なのでしょうか。」

さまざまな医療現場で、医師を支援し、医療チームのコーディネーターができる専門職が医療秘書です。その中でも診察室などの診療の現場で、医師と一緒に働く医療秘書を「クリニカルセクレタリー」と呼んでいます。

IT化の進展に伴い、診療現場では電子カルテシステムが普及し、医師が入力しなければならぬ情報量が激増しています。したがって、2024年に向けて進められている医師の働き方改革において、医療秘書の人材活用は重要な取り組みの一つとなっており、診察室での診療支援や適切なチームマネジメントができるハイレベルな医療秘書クリニカルセクレタリーへのニーズはますます高まっています。

「今後ますます高まるニーズ」

「医療秘書クリニカルセクレタリーとはどのような職種なのでしょうか。」

さまざまな医療現場で、医師を支援し、医療チームのコーディネーターができる専門職が医療秘書です。その中でも診察室などの診療の現場で、医師と一緒に働く医療秘書を「クリニカルセクレタリー」と呼んでいます。



川崎医療福祉大学 医療秘書学科 学科長 山本智子 教授

1979年川崎医療短期大学 医療秘書科卒業。大学院病院勤務を経て、2016年川崎医療福祉大学医療秘書学科教授。2017年現職。岡山大学大学院社会文化科学研究科前期課程（組織経営）修了。博士（医療情報学）。研究領域：チーム医療、クリニカルセクレタリー論

医師の負担軽減へ 活躍の場を広げる医療秘書



実践レベルのITスキルを目指す

「クリニカルセクレタリー育成プログラムの特長とはどのようなものなのでしょうか。」

クリニカルセクレタリーは、医師と同等するにふさわしい行為行動がとれなければならないような専門職になるために、本学科の学生は段階的に専門知識とスキルを習得していきます。

まず、診療現場で働く者としてふさわしい心構え、立派振舞いを習得します。次に、秘書としての気配りや機密保持について、それと並行して実践レベルのITスキル、医師からの指示に即座に対応できる医学知識、医療保険制度、診療情報管理を学ぶ習得します。そして、これらの実力を活かした証として、秘書検定、診療報酬請求事務能力認定試験、診療情報管理士などの専門資格を取得します。さらに、診療現場などのチーム医療のコーディネーター役になるために、プロジェクトマネジメント手法を習得します。これは、国際標準のプロジェクトマネジメント手法（PMBOK：米国PMI管理・

「クリニカルセクレタリー育成プログラムの特長とはどのようなものなのでしょうか。」

クリニカルセクレタリーは、医師と同等するにふさわしい行為行動がとれなければならないような専門職になるために、本学科の学生は段階的に専門知識とスキルを習得していきます。

まず、診療現場で働く者としてふさわしい心構え、立派振舞いを習得します。次に、秘書としての気配りや機密保持について、それと並行して実践レベルのITスキル、医師からの指示に即座に対応できる医学知識、医療保険制度、診療情報管理を学ぶ習得します。そして、これらの実力を活かした証として、秘書検定、診療報酬請求事務能力認定試験、診療情報管理士などの専門資格を取得します。さらに、診療現場などのチーム医療のコーディネーター役になるために、プロジェクトマネジメント手法を習得します。これは、国際標準のプロジェクトマネジメント手法（PMBOK：米国PMI管理・

「クリニカルセクレタリー育成プログラムの特長とはどのようなものなのでしょうか。」

クリニカルセクレタリーは、医師と同等するにふさわしい行為行動がとれなければならないような専門職になるために、本学科の学生は段階的に専門知識とスキルを習得していきます。

まず、診療現場で働く者としてふさわしい心構え、立派振舞いを習得します。次に、秘書としての気配りや機密保持について、それと並行して実践レベルのITスキル、医師からの指示に即座に対応できる医学知識、医療保険制度、診療情報管理を学ぶ習得します。そして、これらの実力を活かした証として、秘書検定、診療報酬請求事務能力認定試験、診療情報管理士などの専門資格を取得します。さらに、診療現場などのチーム医療のコーディネーター役になるために、プロジェクトマネジメント手法を習得します。これは、国際標準のプロジェクトマネジメント手法（PMBOK：米国PMI管理・



医療秘書学科 2017年度卒業 脳神経センター 大田記念病院 勤務 西川依里さん

「今こそ専門職「クリニカルセクレタリー」が必要ですよ」

「備後地区で活躍する卒業生について教えてください。」

卒業生は全国で活躍しており、備後地区の病院へも毎年医療秘書学科の卒業生が多く就職しています。大田記念病院福山市神野上町で勤務する卒業生の西川依里さんは、救急科で医師に代わって診療アシタの入力や診断書作成などの業務を担当しています。平日、毎日1回開催されるオンラインカンファレンスでは、話し合わせた内容をリアルタイムに要約して記録する業務も担当しています。

「今こそ専門職「クリニカルセクレタリー」が必要ですよ」

「備後地区で活躍する卒業生について教えてください。」

卒業生は全国で活躍しており、備後地区の病院へも毎年医療秘書学科の卒業生が多く就職しています。大田記念病院福山市神野上町で勤務する卒業生の西川依里さんは、救急科で医師に代わって診療アシタの入力や診断書作成などの業務を担当しています。平日、毎日1回開催されるオンラインカンファレンスでは、話し合わせた内容をリアルタイムに要約して記録する業務も担当しています。



チーム医療のコーディネート手法を学ぶ